

様式 U-1-2 別紙 〔作成上の注意〕

1. この補助事業完了理由書は、研究が予想以上に進展し、研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合に、研究代表者が様式U-1-2「補助事業完了届」に添付し、研究機関を通じて平成23年10月27日（木）までに日本学術振興会研究事業部研究助成第一課に提出すること。（**必着**）
2. 「（1）完了した研究課題について」欄の「④年度毎の請求額（予定額含む）」、「⑤年度ごとの実使用額」欄には、直接経費と間接経費の合計額を記入すること。
3. 「（2）当該研究課題の研究計画調書に記載した達成目標」欄には、応募の際、研究計画調書に記載した達成目標を簡潔に記入すること。
4. 「（3）具体的な研究経過・成果など、当該目標の達成状況」欄には、補助事業開始年度以降、当該研究をどのように遂行し、その結果どのような成果を上げて目標を達成し、研究を完了することができたのかを具体的に記入すること。
5. 「参考：平成24年度の応募研究課題」欄には、平成24年度に新たに応募する研究課題の「研究種目名」、「審査区分」、「研究課題名」、「細目名（細目番号）」、「応募経費」について、正確に記載すること。